令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課
担当名：産業教育・キャリア教育担当
内線：6764　　（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B24	県立高校キャリア教育総合推進事業	一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費

事業期間	平成26年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	宣言項目	06　次代を担う人財育成
				分野施策	030620　確かな学力と自立する力の育成

1　事業の概要

一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てること主とした就職指導が必要である。社会の中で企業等の学校外での人との繋がりや社会体験を通して、自身の進路を主体的に選択する力を育成する。さらに、自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促すためのキャリア教育を充実させる。

（1）就職支援アドバイザー配置費
（2）キャリア教育推進事業　△3,645千円

2　事業主体及び負担区分

（1）（一部　国1/3・県2/3）
（2）（県10/10）

3　地方財政措置の状況

地方交付税（単位費用）
（区分）高等学校費（細目）教職員経費
（細節）教職員経費
（積算内容）補習等のための指導員等派遣事業

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×1.4人＝13,300千円

5　事業説明

（1）事業内容

ア　就職支援アドバイザー配置費　0千円
　(ｱ)　就職支援アドバイザー配置費用
イ　キャリア教育推進事業　△3,645千円
　(ｱ)　キャリアデザインセミナー等実施
　(ｲ)　地域企業経営者による講演会
　(ｳ)　実践的就業体験

（2）事業計画

高校生一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育をより一層推進する。このために、様々な企業等外部機関による教育力を積極的に活用する。

（3）事業成果

高校生が主体的に自身の進路を選択するために必要な力を学校外部との触れ合いを通して培い、加えて豊かな人間性や社会性を備えた将来にわたって社会的・職業的に自立する力を育成することができる。

（4）県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況

各事業において、外部人材の適切な活用が図られている。そのために他団体との連携を強めながら事業を実施していく。

（5）補正予算の概要

イ　新型コロナ感染症拡大による事業中止等による減額

予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
決定額	△3,645							△3,645	9,823
現計額	13,468							△4,512	